

司令長官

參謀長

副官	謀		參	
	D	C	B	A

第二十三軍司令部

交渉事務録 第二號

日期 中華民國三十四年九月十四日

致 中國戰區陸軍第二方面軍司令官張發奎閣下

由 第二十三軍司令官 田中久一

事由 武裝解除ニ關スル件

接務主任

首題ノ件ニ關シ軍トシテハ東京及南京ニ於ケル交渉ノ範圍内ニ於テ貴軍ニ對シ稟議スヘキ旨上司ヨリ命令セラレアルトコロナルカ本件ニ關シ貴軍御審議ノ參考

0573

送左、如ク申進メ候

一、九月一日附岡村大將ヨリ何應欽將軍宛直議セシ  
事項ノ要旨左ノ如シ

一、乘船地迄自衛兵器（概ネ重機關銃、擲彈筒  
以下）ヲ携行致シ度

右ハ一時借用トスルモ可ナリ

一、内地迄帶刀（劍）ヲ認メラレ度

二、右ニ關シ九月十日何應欽岡村會談席上ニ於  
テ何應欽將軍ノ指示セラレタル原則左ノ如シ

0574

左記

自衛兵署ヲ保持スルノ必要アル時ハ地域的且時期  
的ニ區分シ武裝解除セハ可ナルヘシ

三、香港ニ於ケル英國、武裝解除後ニ於ケル兵署員與  
ノ比率御參考迄

一、軍隊一〇〇名以下ニ對シ小銃拳銃各一五挺、一〇  
〇〇名以下ニ對シ小銃拳銃各三〇挺、兵站(三五〇〇  
名ニ對シ)小銃拳銃各一〇〇挺(居留民掩護ノ爲)  
病院(四五〇名ニ對シ)小銃拳銃各一〇〇挺

0575

2. 右小銃ハ一挺ニ付六〇発、拳銃ハ三ニ発ヲ附ス  
四日本軍將校以下ノ私物軍刀ニ關シ、マツクアトサレ  
司令部ヨリ東京大本營宛ノ回答要旨左ノ如シ  
尚右回答ノ趣旨ハ九月九日米陸軍管下全般ニ  
直リ指令セラレタリ

### 回答要旨

若シ軍刀カ當該將校以下ノ個人的財産ナラハ今  
後何等ノ軍事的意義ヲ有セス且家寶トシテ  
認メ得ヘキ條件ノ下ニ所有シ得ル事ヲ通達ス但

0576

シ佩用ヲ禁止ス

官有物タル刀劍類ニ就テハ他ノ戰爭武器ト共ニ  
引上ケラル、モトス

五、軍トシテハ前第一乃至第四項ノ主旨ニ基キ其軍  
ノ同情アル友好的措置ヲ懇望スル次第ナリ

0577